

一般質問通告書

通告順番 1 番

通告者 時松 智弘 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 町長の立候補表明を受け、都市計画、道路インフラ整備の指針を伺う	9 月定例会では熊本空港アクセス鉄道の中継駅設置に関し「都市計画マスタープランの策定と情報の解像度を上げていく」という答弁があった。 県の明確なルート公表に伴う点を除く、町内の慢性的な渋滞解消と利便性向上のための道路整備は住民が注目する政策と考える。 再選を期する町長は向こう 4 年間の都市計画、道路インフラ整備の概要を明言し、官民一体で推進するべきではないか。指針を伺う。	町 長
2 地価高騰に対し影響が出ている家賃や商業地空白化への対応は	半導体関連企業の周辺地域開発に連動し、農業、商業、工業、住宅用地の高騰が著しい。地価が高騰すれば家賃の高騰、貸し渋り、都市の空白化や乱開発につながる恐れもある。 1 問目にて都市計画に触れたが、まちづくり町民懇談会でも課題としている土地利用や急激な地価上昇に関し町としてできることは無いのか。	町 長
3 コンプライアンス遵守と意識徹底への町の指針・取り組みを伺う	法令遵守、公務員としての倫理、社会規範に従い公正に業務を行うことは行政の推進には重要であり、一たび事案が生じればまちづくりは遅滞し発展を阻害する。全国でも様々な社会通念上許されない行為が散見される昨今、そのコンプライアンス遵守の意識徹底について町長の考えを伺う。	町 長

一般質問通告書

通告順番 2 番

通告者 豊瀬 和久 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 インクルーシブ教育の取り組みについて	(1) 支援学級における学習状況について (2) 支援学級から普通学級へ移籍を希望されている人数及び対応状況 (3) 小学校入学時の就学相談での情報提供のあり方について	教 育 長
2 投票率向上の取り組みについて	(1) 移動期日前投票所を開設すべきではないか (2) 投票した人へ「選挙割」等の特典制度を導入すべきではないか	選挙管理 委員会
3 「マイナ保険証」の普及と利用促進等について	(1) マイナ保険証利用促進のための広報活動はどのように行うのか (2) マイナンバーカードを保有していない方への対応はどのように行うのか	町 長
4 都市計画マスタープランの見直しについて	(1) 社会情勢や環境が大きく変化しているが、その変化に対しての対応状況をどのように考えているのか (2) 町民への都市計画マスタープラン見直しについての情報提供はどのように行っているのか	町 長
5 地震時の火災防止に有効な感震ブレーカーの普及啓発について	(1) 感震ブレーカーを設置している家庭は少ない状況にある。 背景には認知度の低さや、出火防止効果を実感しづらいことがあるとされる。 設置に結び付くような広報を強化する必要があるのではないか (2) 感震ブレーカーの購入・設置への費用助成が必要ではないか	町 長

一般質問通告書

通告順番 3 番

通告者 三宮 美香 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 水泳の授業を民間委託できないか また、スポーツの森にプールを建設できないか	水泳は心身ともに健やかな成長を促す上で、非常に効果的な運動です。学校教育における水泳で、こどもたちは健康な身体と心、そして社会性を身につけることが出来ます。しかし、安全への配慮や教師の負担感、さらには設備管理運営などさまざまな課題があるのも事実です。子どもたちの泳力向上と 1 校に 1 つのプールを維持するためにかけてきた資源を複数の学校でシェアすることで、教師の負担軽減（働き方改革）や、財政負担の軽減につながるのではと考えます。そろそろ水泳の授業の在り方を考える時期ではないでしょうか。そして、その延長線上として町民の健康増進のためにスポーツの森にプールを建設する考えはありませんか。	町 長 教 育 長
2 小中学校へのタブレット端末導入の検証	タブレット端末導入から数年が経過した今、生徒の成績や学習態度に変化があったのか、教科書やノートの代替としてタブレット端末がどれだけ活用され、通学時の負担軽減につながったのかなどの検証はどうされているのでしょうか。また、これからの I C T 教育をどう進める計画なのか、具体的なデータがあればお示ください。	教 育 長
3 町民が「住んで幸せ」と思える町にするために町ができることはなにか	大津町に住んでいる町民が「住んで幸せと感ずること」が、これからの町づくりのテーマだと考えます。大津町が取り組むべき施策や具体的な取り組みには町民の声の反映や町民参加は欠かせないと思います。例えば町民懇談会での参加者の少なさや、町内の危険と思われる空き家や景観を損なう駅周辺の建物に対する対応の遅さ、利用者の視点に立っていると言い難い巡回バスの運行状況、町民の生活の質の向上のための環境整備や高齢者や弱者への配慮など、町民の意見を反映しているようには見えません。改めて、これからの大津町を町民が「住んで幸せ」と思える町にするための具体的な取り組みをお示ください。	町 長

一般質問通告書

通告順番 4 番

通告者 田代 元気 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 中学校部活動の地域移行について	(1) 中学校部活動の地域移行について、補助金を活用した実証事業はどのような取り組みを行い、どのような成果が考えられるのか また、9月の補正予算成立後、これまでの取組の状況は (2) 文化部についてはどう取り組むのか	教 育 長
2 町職員の人材確保について	(1) T S M Cの進出以降、町内をはじめ近隣地域において、あらゆる業種で人材不足がおきている これは、本町の職員についても危機感をもって取り組まなければ、役場機能に今後大きな影響をもたらすと考えますが、こういった対策を考えているのか (2) 会計年度任用職員について、広報おおづには毎回募集がされている 特に、保育士や給食センターの職員については毎回のように掲載されているが、町はどう考えているのか	町 長 教 育 長

一般質問通告書

通告順番 5 番

通告者 山部 良二 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 通学路の安全対策について	J A S M 進出などにより宅地造成や交通量も増加している。さらなる通学路の安全の確保に向けた着実かつ効果的な取り組みが必要ではないか。再度提案する。 (1) 登下校の子どもを守る「通学路見守りカメラ」の設置状況は (2) 街路樹による歩道の盛り上がりや段差が生じている危険箇所の歩道補修や歩道新設が必要ではないか (3) 新たな宅地造成等により、室や緑ヶ丘区では、交通量が増加し子どもたちが危険な通学路を通らなければならないが、安全確保のために 30 キロ規制や通学路（歩道）の整備が必要ではないか。 (4) 各学校において児童生徒に対して指導や校区の危険箇所における注意すべきポイントについて、保護者や地域ボランティア等が共通理解を図り、交通安全確保の取り組みを推進していく必要があるが、実施状況と交通安全プログラムにおける合同点検位置以外の危険箇所の把握と対応は	町 長 教 育 長
2 調整池の整備について	美咲野 2 丁目・3 丁目の調整池の雑草が年間を通して、通学路の視認性を低下させている。また葛が伸び放題で、ツツジに葛が絡まり景観を損ねているし、美化作業での撤去作業も非常に大変であり、近隣住民の不満も溜まっている。対策が必要ではないか。	町 長
3 健康長寿社会の実現に向けて	町民が心豊かに生き生きとすごせるようにするためには、単に長寿であるだけでなく、いかに健康で過ごすことのできる期間を長く保つかが重要ではないか。そのためには生活習慣の改善や、社会環境の整備によって健康寿命の延伸を図る必要がある。それを踏まえ問う。 (1) 生活習慣病予防と重症化予防についての対策は (2) ロコモティブシンドロームの現状と対策について (3) 誰もが社会参加でき、健康づくりの資源にアクセスできる社会実現に向けて、町では「通いの場等の高齢者の居場所づくりへの支援」を行うとなっているが、免許返納された高齢の方から「スポーツの森」の無料券を町からもらったが、	町 長

一般質問通告書

通告順番 5 番

通告者 山部 良二 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
	交通手段がないとの声も聞いている。週に 1 度で良いので、まちなかバスの「スポーツの森」経由のルートを作って欲しいとの声が上がっているが、実現するべきではないか。 (4) 環境省によれば「温泉療法」では、「症状や苦痛の軽減」「健康の回復、増進」など、全体的な改善を促すような効用があると紹介されている。具体的には、温泉の含有成分や、入浴の温熱作用などが、心理反応・生体反応を引き起こすため、体に対しての効用があると言われているが大津町には、温泉施設がなく、菊陽町の温泉施設を利用される方が多くいるが、菊陽町の温泉施設では町外の方の料金が上がっている。そのため大津町に温泉施設を作って欲しいという声が多いが、本町でも温泉施設を作る必要があるのではないかと。町の見解を問う。	

一般質問通告書

通告順番 6 番

通告者 山本 富二夫 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 小中学校の熱中症対策は	地球温暖化が進み、4月から10月中旬まで猛暑となる日が続き、日中はとても長時間の運動ができる環境ではないと思う。小中学校の熱中症対策として以下の点を教育長に問う。 (1) 5月の運動会は、特に小学校低学年の児童への熱中症のリスクが高いのではないかな (2) 秋の運動会・体育大会への移行はできないのか (3) 熱中症対策として、体育館の冷暖房化を考えるとときではないのか	教 育 長
2 南部地区と北部地区のまちづくりをどう進めて行くのか	大津町の中心部では多くの宅地開発があり、また護川地区の工業団地開発や多くの企業進出があるが、その他の地域は取り残されているのではないかな。 大津町全域の均等な開発を進めていく考えはあるのか町長に問う。 (1) 南部・北部地区の住民は開発から取り残されていると思う。 町長は南部・北部地区の開発をどう進めていく考えか (2) 南部・北部地区の農業について担い手育成も含めた町の政策はどう考えているか (3) 南部・北部地区の一部地域で急速に進んでいる過疎化の対策はどうするのか	町 長

一般質問通告書

通告順番 7 番

通告者 佐藤 真二 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 事業調整・財政計画はいつ説明されるのか	これまで何度も財政計画の提示を求め、何度も空手形をいただいた。 3月の一般質問では、「将来の町財政の持続可能性をお示しできる財政計画を整理していきたいと考えています」「しっかり整理した上でお示しを図りたい」とのことだった。 任期の中でこれを示すべきと考える。	町 長
2 職員の確保ができない中、どのように離職を防ぎ、職員を守るか	先日、職員のハラスメントにより、被害を受けた職員が退職した。背景には「見て見ぬふり、事なかれ主義」の職場環境があったようだ。 この他にも、カスタマーハラスメント、業務量の増加など、職員が厳しい状況におかれる要因は多く、離職者の数も増えていっている。 現状を踏まえれば、これまでの手法では対応できるものではないと考えられる。今後、どのように取り組んでいくか。	町 長

一般質問通告書

通告順番 8 番

通告者 大村 裕一郎 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 町内の農地減少について	令和6年3月定例会の一般質問にて優良農地の確保と農業がやりやすい環境の整備、将来の農業の担い手確保のため地域農業者の意向を把握しながら地域計画を策定するとの答弁があった。そして、9月～10月に地域計画の策定に係る協議が各地区で行われ、地域の農業者の意見の集約が行われたが、結果やその手法に関して以下の質問を行う。 （1）協議の場は稲刈りや甘藷の収穫時期と重なっており、さらに開催時間も作業で忙しい日中に開催され、農業者の参加が少なかった。こういった状態で地域計画の精度は確かなものになるのか （2）協議内において10年後を見据えての目標地図の策定を行っているが、将来（10年後）の担い手である若手農業者は参加したのか	町 長
2 渋滞対策について	令和5年12月定例会にて渋滞対策についての一般質問を行った。その際に道路整備計画の策定と併せてわかりやすい目標の設定を行うとの答弁があった。現在の進捗はどのようなになっているのか問う。	町 長

一般質問通告書

通告順番 9 番

通告者 面川 秀貢 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 大津町中小企業小規模企業振興基本条例について	令和4年3月18日に制定された条例である。それから約3年が経とうとしている。制定後から今までの取り組みや、成果は。また、今後の取り組みは。	町 長
2 中小企業、小規模事業者が事業を継続する支援について	令和6年10月25日、熊本県商工会連合会が原材料高や、最低賃金引き上げなどの影響を受ける事業者が事業を継続できるよう要望書を県知事に提出した。内容は様々であるが、市町村においても対策が必要ではないか。 各市町村の事業者の声であることから、市町村からの早期対応が必要である。	町 長

一般質問通告書

通告順番 10 番
 通告者 坂本 典光 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 シニアカー安全運転のための歩道整備	シニアカー利用者が増えている。 大きな道路では、歩道を走ることになるが極力安全性のある歩道整備に努めるべきではないか	町 長

一般質問通告書

通告順番 1 1 番
 通告者 永田 和彦 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 経営能力が疑われる 4 年 間である！	町長になる以前に議員を 2 期務め振興総合計画が町が目指す最上位の計画と知りながら、財源の根拠なき具体例と称する絵本を配布し、当たり前に進む計画の誇張などは政治行政を知る者からは失笑の的であった。 激動期に入った大津町に問題が山積みになってきた。今、必要なリーダーは経済動向を理解し建設的で合理性を持った未来の道標を町民に示すことが出来る者である。	町 長
2 自民党町長は町全体を公平に保てるか？	統一教会問題、裏金問題、エッフェルおばさん、賭けゴルフ問題など、その他切が無いし氷山の一角とも思える。 問題は何が起こっても「自民党はビクともしない」とか、議案に対し「党議拘束だ賛成せん奴は処分する」などと党の重鎮が発言することであり物凄い違和感を覚える。 町民より政党方針を優先する町長ならば不要である。	町 長

一般質問通告書

通告順番 12 番
 通告者 荒木 俊彦 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 半導体企業等の地下水大量取水、住民、農業の共存・共栄を	(1) 県民の宝、地下水と農業を50年・100年先まで引き継ぐ責任がある。20年ぶりに「田んぼの水張り」への助成金が増額され、白川中流域等・水稻作付推進事業が開始され、ひとまず農業者からの歓迎の声が聞かれる。地下水かん養には田んぼでコメを作ることが一番であり、コメを作る農家の後継者が育つコメの価格補償が欠かせない。水稻作付推進事業には、継続と拡大の保障はあるのか (2) 大津町の米の価格安定のためにも学校給食に、大津産の米を提供すること、農家経営が持続可能な単価を補償する仕組みが必要ではないか（千葉県いすみ市の有機栽培事例）	町 長
2 町の都市計画について	大津町は、今までそれなりに便利で、暮らし良い、緑豊かな田園都市だったと思う。TSMC進出で菊陽町は国や県が直接乗り込んで、町の大改造を急激に進めようとしている。大津町も地価が高騰して、光を受ける反面、通勤通学での交通渋滞、地代家賃・人件費の高騰で地場企業の営業困難も深刻となっている。 町の都市計画について、浮足立つことなく冷静に専門家や町民も交えて検討をお願いしたい。 懸念されることと、提案 (1) 空港アクセス鉄道が開通するのは早くても10年後であり、中間駅付近への大型商業施設の実現性について何らかの根拠があるのでしょうか (2) アクセス鉄道の計画が始まれば、「肥後大津駅」の高架や駅ビルも必要になるのでは 駅ビルとイオン大津店を結ぶような構想もあっていいのではないかな (3) スポーツの森付近への豊肥本線駅構想を、改めて評価するときではないかな	町 長

一般質問通告書

通告順番 12 番
 通告者 荒木 俊彦 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
3 あけぼの団地の駐車場問題と集会所	(1) 駐車場の管理、集金は自治会任せになっている。住民による毎月の集金にストレスを感じている人がいる。駐車場管理は自治会に委託して、料金収入は家賃と一緒に口座引き落としを (2) 団地の集会所の問題が出ているが、そもそも400世帯の団地に対して、集会所が狭すぎる。大津保育園の移転が計画されている。団地の高齢者の集いの場、室地域の集会所として整備をしたらどうか	町 長
4 TSMCがもたらした光の配当を、町民の暮らしの安心に	(1) 地方自治体の本旨は「住民の福祉の増進を図る」ことが基本であることを、改めて確認したい (2) 町民の困っていることに耳を傾け、物価高騰の中、一部で時給が上がっているが、多くの働く人の実質賃金は追いついていない。高齢者の年金はむしろ目減りしている。TSMCの光の配当は、高すぎる国保税値上ストップ、介護の負担軽減、給食費の無償化など町民の暮らし、福祉、教育の支援に目を配ってもらいたい	町 長